

クテオフラスツス氏ノ使用シタル希臘名ニシテ其語ノ下半ハ黃金ノ義ナリ即チ其花ノ黃色ニ基キテ名ケシモノナリ

むぎわらぎノ名ハ其總苞片ノ剛クシテ黃色ヲ呈スル恰モ麥稈ノ如キヲ以テ斯ク呼ビタルモノナリ
今左ニむぎわらぎ及ビかいざいく兩種ノ檢索表ヲ掲グ

(一) 莖ヲ通ジテ著シキ綠色ノ翼アリ、頭狀花ハ徑六七分、總苞ハ總テ純白色、花床ニハ花間

ニ鱗片アリ、冠毛ハ變ジテ單ニ杯形トナル

かいざいく

(二) 莖ニ翼ナシ、頭狀花ハ徑一寸餘、總苞ハ黃色ヲ本トシ種々ノ色アリ、花床ニ鱗片ナシ、

冠毛ハ常形ニシテ毛ヲナス

むぎわらぎ

○櫛カ櫛カ

牧野 富太郎

從來自然分科中ノ *Loranthaceae* ハ櫛寄生科ト譯セリ而シテ本科ニ始メテ此譯語ヲ下セシハ田中芳男先生ニシテ即チ明治五年出版ノ *ア、カントレ* 垓甘度爾列氏植物自然分科表ニ於テセリ然ルニ後ノ此譯語ヲ襲用スルモノ往々其櫛字ヲ誤リテ櫛字ヲ用キ以テ櫛寄生科トナシ今日出版ノ書尙此誤ヲ改メザルモノモノアリ世ニ櫛寄生ノ名アリ然レドモ櫛寄生ノ名ナシ櫛寄生ハ即チやどりさノ漢名ナリ

某文學者自著ノ文集ニ題シテ櫛の葉ト云フ然ドモ是レ當サニ櫛の葉ナラザルベカラズ櫛ハなら、かしは等ニ當ル字ナリ文學者ハ由來文字ニ明カナルモノ尙此誤アリ所謂千慮ノ一失ナルモノ乎呵々

櫛ハ音こくナリ而シテ櫛ハ音かいニシテ蓋シ是レ松心即チ肥エ松乎肥エ松ハ朽松ノ材心脂ニ富ムノ部ナリ